

# 災害に備えて皆さまへのお願い

## 大雨が降ったときに、身を守るために

昨今、大雨に対する下水道の整備水準を上回るような豪雨が、全国各地で頻発しています。そのため、市民の皆さまには、「自助」・「共助」の取り組みとして、日ごろから“洪水・内水ハザードマップなどを活用した指定避難所や避難経路の確認”や“雨水ますの清掃”などをお願いしています。

### 洪水・内水ハザードマップの活用

予想される浸水の区域や深さ、避難の情報などを記載した「洪水・内水ハザードマップ」を平成22年6月に名古屋市内の全戸に配布し、あわせて名古屋市の公式ウェブサイトでも公表しています。大雨が降ったときには、適切な行動をとることが重要です。日ごろから「洪水・内水ハザードマップ」を活用して、指定避難所や避難経路を確認しておきましょう。



ハザードマップの表紙と表示例

### 雨水ますの清掃

雨水ますは雨が下水管へ流れ込む入口です。雨水ますにごみや落ち葉が詰まったり植木鉢が置いてあったりすると、雨が下水道に流れず、浸水の原因となる場合があります。雨水ますのまわりを日ごろからきれいに清掃し、物などを置かないよう、皆さまのご協力をお願いします。



ごみや落ち葉が詰まった雨水ます



清掃後



きれいな状態の雨水ます

## 雨水流出抑制

雨水流出抑制とは、雨が降った時に下水管へ流れ込む雨水の量を抑えることです。市街地では、昔に比べてアスファルトやコンクリートに覆われた部分が多くなったため、大雨が降ると雨水が道路などにあふれやすくなっています。そこで、敷地内に雨水を浸み込ませる透水性舗装や浸透雨水ますなどを整備したり、雨水を一時的に貯めておく雨水調整池を設置したりすることで、大雨に対する安全性が向上します。

名古屋市では、市の施設において雨水流出抑制を実施するとともに、民間の事業者や市民の皆さまにもご協力をお願いしています。また、市域のどの辺りが浸透に適しているかの目安となる「浸透適地マップ」を名古屋市の公式ウェブサイトで公表していますので、ご自宅の新築・改築などの際には参考にしてください。



透水性舗装の駐車場



地下貯留施設の建設

## 雨水（あまみず）情報

雨水排水ポンプの運転状況や観測雨量、河川水位などを確認でき、避難に役立てることが出来ます。雨水情報は上下水道局公式ウェブサイトで公開していますので、ぜひご確認ください。



雨水（あまみず）情報画面

## 簡易水防工法

プランターに土のうなどを入れ、ビニルシートに包んで止水板の代わりにすることで、道路冠水時に車が通ってできる波による雨水の浸入を防ぐことができます。

浸水が浅い段階で有効な手段で、ご家庭にあるもので簡単に対策ができるため、ぜひ覚えてください。



簡易水防工法の例



簡易水防工法の効果



## 地震が起きたときに、身を守るために

地震発生後の混乱している期間は、上下水道局でも十分な対応が難しいと予測されますので、皆さまの「自助」・「共助」をお願いします。

### 地下式給水栓

地域の皆さまが自ら操作して応急給水できる施設として、すべての市立小中学校などに整備しています。操作セットは、各小中学校などに保管されています。



地下式給水栓の設置状況と看板



地下式給水栓のふた

### 下水道直結式仮設トイレ

災害時に地域の皆さまが自ら組み立てて使用することができる下水道直結式仮設トイレを設置するためのマンホールを、指定避難所などの周辺道路に整備しています。下水道直結式仮設トイレ本体は、各指定避難所などに保管されています。



下水道直結式仮設トイレ



下水道直結式仮設トイレ用マンホール

災害に備えて皆さまへのお願い

## 災害時に役立つ施設の検索

応急給水施設や地下式給水栓、下水道直結式仮設トイレ用マンホールがある場所を、上下水道局公式ウェブサイトから検索できます。自宅や職場の近くの地下式給水栓などの場所を印刷して保存しておく、いざという時に役に立ちます。

災害時は、応急給水施設ごとに開設状況が随時反映されますので、その時点での「利用可能な施設のみ」を検索することもできます。

## 飲料水の備蓄

大規模な災害による広域的な断水が発生すると、皆さまに水がいきわたるまでに数日かかってしまう場合もあります。そのため、各家庭で、1人1日3リットルの3日分（計9リットル）以上の飲料水の備蓄をお願いします。



災害用備蓄飲料水「名水」

### ○飲料水の備蓄方法について

- ・上下水道局で災害用備蓄飲料水「名水」を販売します（期間限定）。1箱で1人3日以上分の飲料水を備蓄できます。
- ・ポリタンクなどで備蓄する場合は、3日間を目安に水を入れ替え、必ず冷暗所で保存してください。



## 水道の元栓の閉め方

地震が起きたとき、自宅の敷地内で漏水があると、配水管の漏水の発見に時間がかかったり、断水後に通水した際に水が敷地内で噴出したりする危険性があります。

自宅の給水管から漏水した場合や、指定避難所に行くときは、必ず水道の元栓を閉めてください。



災害に備えて皆さまへのお願い

災害に備えて確認しましょう  
(確認して□に✓を記入しましょう)

- 近くの応急給水施設や地下式給水栓の場所
- 近くの下水道直結式仮設トイレ用マンホールの場所
- 水の備蓄（1人9リットル以上）
- 水道の元栓の位置